

mizutama

水滴によって水玉もようが現れる手袋

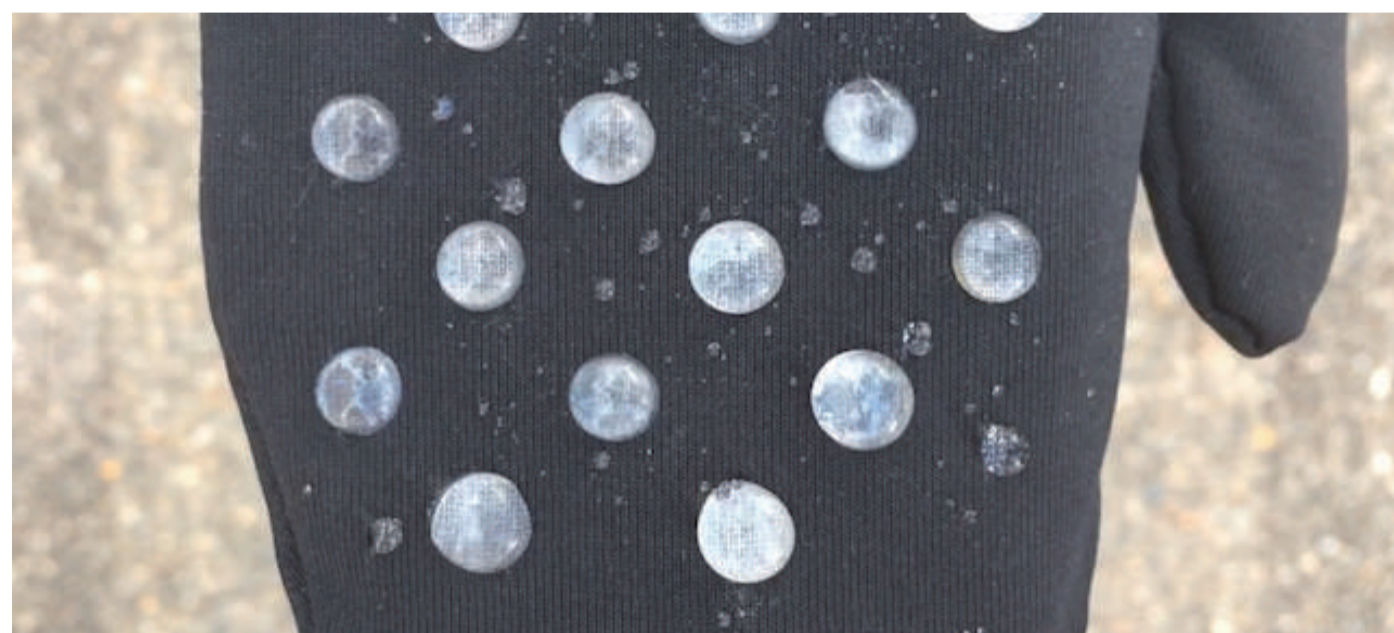
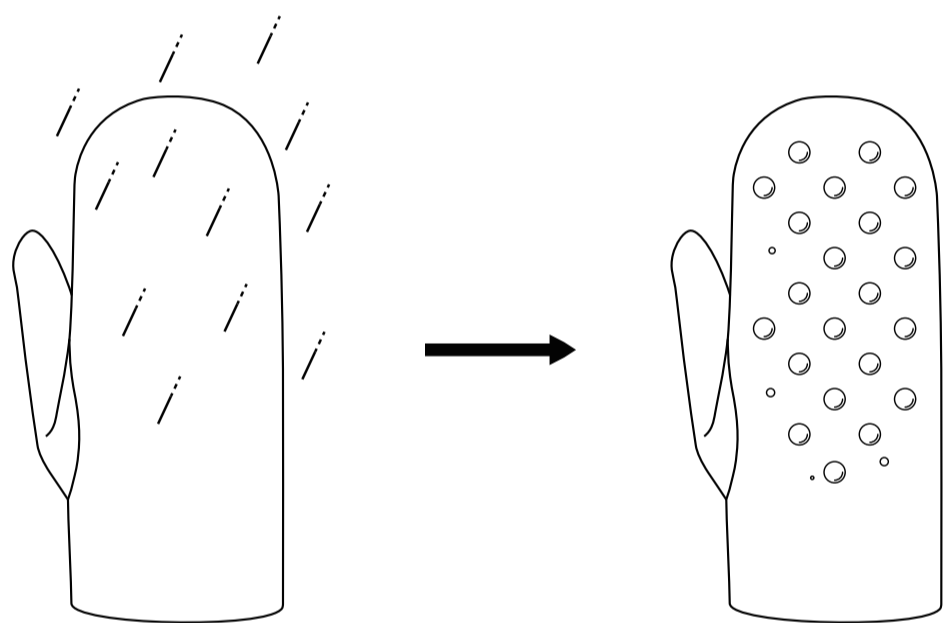
グループテーマ：雨の日

商品説明

一見何の変哲もない黒無地のミトン型手袋。

しかし、雨の日には姿が一変。雨粒などが当たると次第に水滴の水玉もようが出現。

パツと振り払えばもようはなくなり、元どおりになる…そのような手袋を理想として、この商品を提案しました。



提案のきっかけ

撥水に関する実験を試す中で、部分的に水滴が残る現象を発見しました。このような現象が、雨などによって一見シンプルな手袋の上で引き起こされたら、またその現象によって部分的に残った水滴が、何か柄になっていたら雨の日のささやかな楽しみになるのではないかと思います、この手袋を考えました。

また、柄を考える際に水玉模様に着目しました。水玉模様と聞くと一般的には平面的な図柄を想像しますが、水滴と掛け合わせることで今までにない立体的でリアルな水玉もようを作り出しています。



現段階の試作品の内部構造

手袋の表面となる1層目は、撥水加工を施した生地の上から水玉にあたる部分に樹脂が乗せられています。2層目は1層目を通り抜け入り込んでしまった水滴をせき止め、3層目は起毛により手袋内部を温かくする役割を持っています。

※今回樹脂プリントの部分は既存の型を使用したため、水玉模様のスケールが実際に想定しているスケールと異なっております。

